

(倫理様式 2-2-1)

通所リハビリテーションにおける栄養ケアマネジメント の取り組みからみえてきた課題

1. 研究の対象

令和3年4月から令和4年1月の間、通所リハビリテーションを6ヶ月以上継続利用した方を対象とします。なお、調査期間中に入院された方や急激な体重変化がみられた利用者を除きます。

2. 研究目的・方法

今回、通所リハビリテーションにおける管理栄養士の関わりが利用者の栄養改善に有効であるかを明らかにすることを目的としました。体重、栄養状態のリスク判定、栄養に関する問題点等の情報を診療記録から後方的に抽出し、栄養状態や栄養に関する問題点が改善されていたかを調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で使用する情報は体重、栄養状態のリスク判定、栄養に関する問題点(食事摂取量・摂食嚥下機能)等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。
本研究に関する対象から離脱したい場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも各研究対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒372-0006 群馬県 伊勢崎市 太田町 427-3

公益財団法人 脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース

TEL：0270-24-3380（直）

研究責任者：栄養管理部 大澤 直樹

-----以上